

第12回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

議事録

日時；平成24年12月4日（火） 15：00 ～17：00

場所：大宮ソニックシティ ソニックシティビル7F 706会議室

出席者	座長	葉山 嘉一	日本大学生物資源科学部 准教授
	委員	池谷 奉文	公益財団法人日本生態系協会 会長
		柳澤 紀夫	公益財団法人日本鳥類保護連盟 理事
		勅使河原 彰	狭山丘陵の自然と文化財を考える連絡会議 前代表委員
		鈴木 伸	鳩山野鳥の会 代表
事業者		本間 淳史	東日本高速道路株式会社 さいたま工事事務所長
		辻 保人	国土交通省関東地方整備局 大宮国道事務所長
事務局			大宮国道事務所

第12回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

項目	主な意見と回答
開 会	<p>・若干定刻より早いのですが、ただいまより第12回埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議を開催させていただきます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、御多忙中の中、御出席いただきまして、ありがとうございます。本日の進行を務めさせていただきます。大宮国道事務所調査課長の森澤といいます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議は、15時から17時までということで約2時間を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>では、議事に入る前に本日の配付資料の確認をさせていただきますと思います。まず最初に議事次第があります。そして、A3判の資料になりますが、第12回埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議の会議資料①、続いて会議資料②、会議資料③、そして会議資料④、それと参考資料として調査地Hにおける猛禽類調査結果ということで、種類としましては5種類と議事次第という形でさせていただきます。資料の不足がありましたらお申しつけください。よろしいでしょうか。(事務局 森澤)</p> <p>【会議資料】 会議資料① 第11回会議資料 (P38, P44, P50) の修正 会議資料② 調査地Lの保全対策 会議資料③ 平成25年繁殖期初期の調査計画 (案) 会議資料④ 調査地G (上尾道路■■■■) の道路整備によるオオタカへの影響及び保護対策 参考資料 調査地Hにおける猛禽類調査結果</p> <p>・それでは、議事次第に沿って進めさせていただきます。ここからは■■■■に進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。(事務局 森澤)</p> <p>・12月に入ってお忙しい中恐縮です。ことし1年ずっと走ってきたつもりなのですが、まださらに走らなくちゃいけないと思うとうんざりしますが、よろしくお願いいたします。</p> <p>今御紹介があったように議事が4つありまして、11回の会議資料の修正と調査地Lの保全対策、平成25年繁殖期初期の調査計画案、それから調査地Gの道路整備によるオオタカへの影響及び保護</p>

第12回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

項目	主な意見と回答
<p>第11回会議資料 (P38, P44, P50) の修正について</p> <p>調査地Lの保全対策</p>	<p>対策についてという内容でございます。どうぞよろしくお願いいたします。 [REDACTED]</p> <p>・では、最初の第11回会議資料の修正について御説明をお願いします。 [REDACTED]</p> <p>・それでは、引き続きまして、よろしくお願いいたします。 事前に委員の皆様には資料の説明をさせていただいておりますので、ポイントのみに絞って御説明させていただくことで御了承願いたいと思います。 それでは、会議資料①、第11回会議資料の修正について御説明させていただきます。(事務局 森澤)</p> <p>・「第11回会議資料 (P38, P44, P50) の修正」の説明 (事務局 森澤)</p> <p>・ありがとうございます。 今御説明がありましたけれども、この修正で前回の御意見を伺った内容が十分反映されているかどうか御意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。あるいは御質問でも構いませんが、どうぞ。特に一番最後のページのあたりはどういう対応にするかという重要な部分ですので、また後でも、これについての議論がありますが、差し当たってはこんな内容でよろしいですか。 [REDACTED]、よろしいですか。 [REDACTED]</p> <p>・はい。 [REDACTED]</p> <p>・ありがとうございます。 [REDACTED]</p> <p>・それでは、次の2番目、調査地Lの保全対策についての御説明をよろしくお願いいたします。 [REDACTED]</p>

項目	主な意見と回答
調査地Lの保全対策	<p>・では、会議資料②、調査地Lの保全対策につきまして御説明させていただきます。会議資料につきましては第1章から第4章までありますので、続けて御説明させていただきたいと思います。(事務局 森澤)</p> <p>・「調査地Lの保全対策」の説明(事務局 森澤)</p> <p>・ありがとうございます。</p> <p>それでは、これから御意見を伺っていきますけれども、内容が分かりますので、第1章、第2章をまとめて最初にこの部分について御意見を伺って、その次に第3章の保全するための措置ですね、その議論を伺って、最後にL地の施工時の配慮案を議論していただくというように進めますので、よろしくお願いします。</p> <p>では、初めに、1章、2章の点について、特に2章ではLの敷地を大きく持っておられる地権者の方の御理解が得られてというようなお話が出てきましたが、いかがでしょうか、Fは今後もさらに進めていくというお話ですが。</p> <p>特にこの辺は、XXXXXXXXXX、ちゃんとした文言を入れていただきたいというお話をされていましたが。XXXXXXXXXX</p> <p>・それは基本的には大丈夫。XXXXXXXXXX</p> <p>・大丈夫ですか。XXXXXXXXXX</p> <p>・反映されていますので。あとは、積極的に保護対策を進めてほしいということですね。XXXXXXXXXX</p> <p>・ほかの委員の皆様はいかがですか。よろしいですか。 XXXXXXXXXXはいかがですか。XXXXXXXXXX</p> <p>・この営巣林の2.1のところの左側のところについては、今ここに書いてあるだけが対策として述べられているわけですね。そのかわり、後で考え方を1つ提案したいと思っているので、それは後でちょっと説明させていただいて。XXXXXXXXXX</p>

項目	主な意見と回答
調査地Lの保全対策	<p>・4章の前に議論するというので……。 [REDACTED]</p> <p>・資料をつくっていただいて、きょう見せていただいたのですが、調査地Hのオオタカの営巣の推移ということから考えて、ここにもそれが当てはまるんじゃないかなという気がしますので、それを後でよろしくお願いします。 [REDACTED]</p> <p>・そうでしたら、1章、2章についてはこの内容でいいということにいたします。 [REDACTED]</p> <p>・では、3章の生息環境を保全するための措置についてはいかがでしょうか。前回も見せていただきましたけれども、施工段階ではさらに細かく詰めていかななくてはいけないことはあると思いますが、一応の考え方としてこういう内容でビオトープ空間を整備していくという話で、 [REDACTED]からは木本類だけではなくてという御意見もありましたが、この辺のもろもろの御意見がきちっと反映されているかどうか御意見を。 [REDACTED]</p> <p>・大変いい格好になったなというふうに思いますね。国際的には当然なんだけど、日本国内では大変な先進事例になるものですし、将来のためにこういった樹木だけではなくて草本類の遺伝子もきちっと守るということを示したことは大変評価できると思いますね。 [REDACTED]</p> <p>・幾つか7ページのところに実際の具体化が進められている場所の紹介がありますけれども、一番下の [REDACTED] の場合は [REDACTED] も関わられていらっしゃるけれども、水分の供給と日照の問題、あとは土壌の問題がネックになる要素になりますので、特に水分供給に関してはさらに情報を収集していただいて、実施の際には齟齬のないようによろしくお願いいたしますと思うのですが、そんなところでよろしいでしょうか。 [REDACTED]</p> <p>・そうですね。 [REDACTED]</p>

項目	主な意見と回答
調査地Lの保全対策	<p>・考え方としては、それぞれ樹林ゾーン、水辺ゾーン、草地ゾーンでこういうお考えでよろしいでしょうか。</p> <p>よろしいようですので、地域協働のイメージも、御経験を積まれていらっしゃるところがあるので、そういうところを御参考にしていただいて詰めていただければありがたいと思います。■■■■■</p> <p>・地域協働の重要性については■■■■■の意見があったところで、それを反映させてもらいたいと思います。■■■■■</p> <p>・そうですね。組織の中で、取りまとめときちっと指導していくポジションに、専任になるかどうかはわかりませんが、メンバーがいらっしゃらないと、なかなかうまくまとまっていけない側面がありますので、その辺も御検討を。 ■■■■■、御意見を具体的に。■■■■■</p> <p>・いろいろというか、そちらこちらでこういったことをやって、何かみんなでやっていこうということで意見があったりしてまとまってくるのですけれども、まとまったところで、取組みの段階でみんなとまってしまうんですね、大体は。これを何とか飛び越えないと、せっかくここまできた対策が実施されない、実現されないということが私の経験ではあったものですから、その辺のことを心配していました。だれが、どこで、いつコントロールして、コーディネートをするのか。この右のほうにある事例というところに出ていますが、これはどなたかがきつとやったんだと思うんです。そういったものをこちらのほうで基本方針を固めながらイメージするなり何なりしてつないでいかないと実際の対策にはつながっていかないと経験的にも言えるので、その辺を十分お考えいただければと思っています。■■■■■</p> <p>・■■■■■ビオトープの場合は、この協働連絡会のような組織に■■■■■が入っていて、チェックをしていくと。しかも、ここの写真にありますけれども、実際のビオトープを改善していく際の、若干ですが、お手伝いも学生を引き連れてやっていますので、今回もそういう形で私が動ける限りかかわらせていただきたいと思いますと思っていますけれども。■■■■■</p>

項目	主な意見と回答
調査地Lの保全対策	<p>・この地域協働という全体を、多分■■■■はその部分のある部分をこの部分で協力できますよということをおっしゃっているのだと思いますが、この全体をコントロールして、コーディネートしてそちらに振り分けたりというような司令塔みたいなものを具体的に設けないとぐあいが悪いのかなということです。■■■■</p> <p>・それは今後御検討を具体的にいただければと思います。■■■■</p> <p>・■■■■の例は■■■■にコーディネートして頂いています。(事務局 早野)</p> <p>・せっかく取組みを実のあるものにするためにはそういった取組みが必要だと思うので、しっかり検討していきたいと思っています。(事務局 早野)</p> <p>・この事例が実現すると環境賞を受賞するかもしれません。■■■■</p> <p>・そうですね。■■■■</p> <p>・楽しみにしています。3章はよろしいでしょうか。 それでは、多分きょうのメインの議題になると思いますが、4章で、L地の施工時の配慮、どういう進め方で、どういう時期に、どういう判断で、どう進めるかという部分について御意見を伺ってきたいと思います。</p> <p>その前に、■■■■から先ほどお話がありましたHについてですか、お話をいただければと思います。■■■■</p> <p>・Lのところの対策は、拝見しますと、左に書いてあるのが保護対策の具体的な形だということをいっているようなのですが、実は私は10月30日にLとFとBと、それからAの営巣地を案内していただいて現地を見てきました。私がいつも丘陵山間部で見ているオオタカの営巣の環境とは随分趣が違って、私が考えている営巣環境よりは厳しい中でオオタカが営巣して繁殖しているというそ</p>

項目	主な意見と回答
調査地Lの保全対策	<p>ういう印象の違いを非常に感じたわけです。</p> <p>何が一番林に入って行ってあれだったのかというのは、営巣の地域が非常に狭かったということと、巣をつくっている高さが私なんかが見ているより高い印象を受けました。この中でオオタカも一生懸命営巣して繁殖しているのは大変なんだろう、そういった厳しい条件の中でやっているのではないかとオオタカにかわって思いましたけれども、それならそれでもって一つの環境ですから致し方ないと思うのですが、今Lは、工事が終わって供用するのは幾年でしたっけ。 [REDACTED]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 26年度末なので、27年4月ごろと。(事務局 早野) ・ 3年間…… [REDACTED] ・ 2年ちょっと後ですね。(事務局 早野) <p>・ 供用を2シーズン見るということになってくると、5年弱ぐらいの期間があると。私は、こういった推測を簡単にやってしまっはいけないのかもしれませんが、このLにはオオタカは近づかない可能性はあると思うんです。非常に狭い中で工事をやっています。人の出入りも激しいし、環境自体が非常に狭いですから。だけれども、ここに営巣したことは事実だし、ほかの状況を見ると、ここにまた入り込んでやる可能性も大きいということなので、ここに保護対策として地主さんに手紙を書くとか以外に、数年後に戻ってあるいは入り込んできたときのための環境整備をしておくのも一つの保護対策なのではないかと考えるようになったのです。</p> <p>そう考えるようになった根拠は、きょうの資料の一番後ろか何かのところにあります。 [REDACTED]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参考資料で示させていただいております。2枚紙になります。(事務局 森澤) ・ Hのあれですね。 [REDACTED] ・ 参考資料Hです。(事務局 早野)

項目	主な意見と回答
調査地Lの保全対策	<p>・もう終わったんですけども、調査地Hのところ、一番最初にオオタカが来て営巣して、ここに書いてあるのは「H16年」と書いてあるのですが、私の記憶では14年から3年間くらいあるいは2年間くらい営巣した後、この周辺がいろいろ騒がしくなってきたりあるいは工事のあれが入ってきたということで、16年まで確認して、17年以降は上流の■■■■の小さな林に移って行って、ここで2年ほど営巣しています。それを、また上流のほうかどうかわかりませんが、ここから姿を消していなくなったんですが、またここに戻ってきたのが平成22年ですか、ことしで3年目戻ってきているということになると、これは供用が済んで時間がたってきたので環境もまた安定した状態に戻ったのだろうと私は勝手に思っているんですが、また戻ってきたのかあるいは入り込んできたのかはわかりませんが、いずれにしてもオオタカがここで営巣して、3年連続やっているということは、安定的な営巣環境がここで確保できているのだろうなということなので、17年から21年まで4年間姿を見せなかったんだけれども、供用後入り込んできて営巣しているということから考えれば、こちらのLにおいても、一度はそこで、しかも中心域でやったということで、もう例としてあるわけですから、数年後に戻ってくる可能性があるということも考慮に入れてやっておくということも手なのか。これからしばらくの間、工事だ何だということでちょっと入りにくい可能性は大きいですが、入ってくる可能性はないとは言えない。しかも、中心域の保護対策ということですのでこれはぜひやっておくべきだろうということで、この調査地Lのこの二、三年間の間に営巣環境を確保するような整備を行っていただくの大切なことなのではないかと思ったのです。</p> <p>ぜひそのことを提案したいと思いますので、この文書を提出するだけでなく、実際に■■■■などは非常に見ているケースが多いですから、灌木を切っておくとか林内空間を数年をかけて立派にしようじゃないかという試みをやっておくのもいいかなと。今後はやはり保護対策というのは、とりあえずいなくならないようにするというだけでなく、何年か後には戻ってくる可能性を考えて整備しておいてあげるということも大事なのかなと思います。提案として申し上げておきたいと思います。■■■■</p>

項目	主な意見と回答
調査地Lの保全対策	<p>・ありがとうございます。</p> <p>考え方は2つあるかなと思うのですが、今までFとLの関係がどうなっているかを議論して、2ペアが使うのか、1ペアが使うのかということで、今のところは恐らく1ペアだろうという結論になっておりますね。1ペアだとすると、Fを使うのか、Lを使うのかと。Lに関してはああいう環境の改変が今後予定されているので、条件は悪くなると。そうすると、可能性としてはFのほうが安定的な繁殖の場所になれば道路からも距離がありますのでいいのではないかという考え方が1つありますね。</p> <p>■■■■■がおっしゃるのは、私の判断では、もう一つそれに加えて繁殖が安定するための言ってみれば補助的な場としてLの場所の質をある程度維持するということにつながるかな、そんな解釈でよろしいのでしょうかね。■■■■■</p> <p>・あと、やっぱりFのほうも、2年でも3年でもいいのですが、時間の経過の中で何が起きるかわからないということも起こり得るし、あとこの周辺を見た範囲でデータを見ると、1つの巣で5年も10年も同じ巣を使って営巣しているというケースは少ないですよ。という、絶えずそういった条件の悪いところで営巣しているということがあるので、そのことも考慮すると、将来の安定性も目指したものも考慮していいのではないかということを考えました。■■■■■</p> <p>・道路が建設されることによってL、Fを含む地域全体のオオタカの営巣地としての質が下がるので、そのフォローとしてLにもしっかり対策を施して質が下がった部分を支えることをしよう、そういうお考えですか。■■■■■</p> <p>・将来をも含めてということイメージしているわけです。■■■■■ ■■■■■</p> <p>・わかりました。</p> <p>今御提案があった内容も含めて事務局から御説明があった対策に関して御意見をいただきたいと思います。よろしくお願ひします。■■■■■</p>

項目	主な意見と回答
調査地Lの保全対策	<p>・今の■■■■■のと同じような意見があるので、ちょっといいですか、先に。■■■■■</p> <p>・どうぞ。■■■■■</p> <p>・事務局の説明をいただいたときに、ちょっとうっかりして、■■■■■がこの中に入るんですね、いわゆる付け替え道路です。■■■■■ ■■■■■</p> <p>・そうですね。■■■■■</p> <p>・もともとけもの道のようなところだったのを6mぐらいの広い道路になるということで、沿道開発をされるおそれが非常に高くなるわけですね。それで、その沿道開発の抑止ということを全く今まで考えないで来ていたので、今回事務局の事前説明があったときに、ぜひここについては将来的に緑地を残していくためにも沿道開発を抑止するような、柵等の設置を検討してほしいということで事務局にはお願いしてあります。一応事務局のほうとしても前向きに、■■■■■なので■■■■■とも調整しなくちゃいけないけれども、できるだけ私の意見を踏まえて実施できるように努力するというような意見をいただいたと思うのですけれども、そのあたりもちょっと議事の中に加えておいてほしいと思うんです。沿道開発を抑止するための柵等を設置してほしいということですね。■■■■■</p> <p>・特に今回は御説明がありませんでしたけど、議論が進んだ後でその辺にどう対応できるかのお話をいただければありがたいと思います。■■■■■</p> <p>・もしよろしければ、■■■■■のお話と■■■■■の関係だけ、とりあえずお話というか、事務局としての考えみたいなものをお話しさせていただきたいんですけれども。(事務局 早野)</p> <p>・じゃ、よろしくどうぞ。■■■■■</p>

項目	主な意見と回答
調査地Lの保全対策	<p>・ [] の [] のところの事例を例に、結局道路はできたけど、そこに環境がしっかり担保されているので、そこにオオタカも、サシバも、チョウゲンボウも来たみたいなことになったと。実際Lの [] がそういうふうには本当に今後よくなるかどうかというのはなかなか難しい部分がありますが、樹林の保全という意味で、まず林としての担保性については引き続き努力するという話と、あと林の管理の話とかも [] からあったと思うんですけど、そういうのは土地の所有者とのお話もあるので、できるだけそういうのは努力していきたいということと、あと [] もおっしゃっていた開発抑制、特に [] というか、機能補償道路沿いですかね、の部分につきましては、土地所有者の方とか [] と今後どうい話ができるかを含めて前向きに検討していきたいと思っています。(事務局 早野)</p> <p>・ [] 、いかがですか。今の御回答でよろしいですか。 [] []</p> <p>・ はい。 []</p> <p>・ そうでしたら、議論を先に進めて []</p> <p>・ [] の意見にちょっと危惧の念を持っています。ここで議論をして、その延長線でしばらく来ないこともありそうだという判断をされて、そこへ集中して来るような仕掛けを考えるというようなことですね。それは結果だけだと。工事をばんとやって、あとちょっとしておけばいいじゃないかということに結果としてはなってしまうのではないかという危惧をその意見には私としては持っています。ここで皆さんで議論をした結果の上で積み上げた話なのでよくわかりますけれども、その下を知らないで上の結果だけだと、これからの場所で道路をつくって、割合にごつつくって、二、三年いなくなつて、用意しておけば来るよという施策で、来ないことの心配をしています。その点で100%いいなというふうには言えないのですが、努力をする話としてはよくわかります。 []</p>

項目	主な意見と回答
調査地Lの保全対策	<p>・事務局としましては、実際この■■■■のオオタカが、過去ずっと調査している中でも10年に一回しか来ていないというのは実際認識しているんですけど、なので今後どれだけ好んで来てくれるかという話はわからないと思うんですけど、■■■■がおっしゃるように環境をしっかり担保しておくということがやっぱり重要だと思っていますので、来るのは期待していますが、来なかったら来なかったことも、それは結果として受けとめなきゃいけないと思っていますので、ただ、環境保全のための努力は少しでもできる部分はやっていきたいというふうに思っています。(事務局 早野)</p> <p>・■■■■がおっしゃるのもよくわかります。こうしたことがひとり歩きをすると本筋から外れるよというお話ですよ。それは肝に銘じながら、対策を施したという内容を対外的に伝えるときにその辺を御注意いただいて情報提供していただければありがたいなと思います。よろしいですか、そういう話として。■■■■</p> <p>・どうぞ。■■■■</p> <p>・それで、いかがですか、段取りですが、1つは私が現地に出向いて。■■■■</p> <p>・先に人工代替巣の対策について議論したらどうですか。■■■■</p> <p>・はい。代替巣ですね、そのほうが簡単だと思いますので。■■■■</p> <p>・わかりやすいので。■■■■</p> <p>・はい。タカの目になれといってもなかなか難しいのですが、一応えいやとこの3つ。候補が6カ所ありましたけれども、ちょっと危惧の念がある。カラスが近くにいたり、人の出入りがありそうだというような点があったり等々ありまして、15ページの一覧表を御確認いただくと三角になった理由がおわかりいただけると思いますが、全部につけてみてといってもよいのですが、何か御質問が</p>

項目	主な意見と回答
調査地Lの保全対策	<p>ありましたらお願いします。 [REDACTED]</p> <p>・空間被度のその部分だけからいうと、F2とNo. 1とNo. 4が適切だと思うんですね。ほかの条件を入れなくて林の様子だけ見るとそうなるのですが、No. 1のところについては人家に近いというようなことになるのでということになると、F2と4番かなと思いつつ見ましたが、林内空間だけからいうとNo. 1が相応しい場所なのかなと思っています。特に木が高いこともあってやりやすいのかなと。 [REDACTED]</p> <p>・基本的には一番上に屋根になるような空間があって、その下に… [REDACTED]</p> <p>・その下はその空間の半分ぐらいの被度だととてもいいと思います。 [REDACTED]</p> <p>・そういう構造が立体構造の中でないNo. 2に関しては、周りが竹で、そこから飛び出してある程度の枝があるという構造だったので、可能性は全くないかなという評価でしたが、 [REDACTED] がほかのところをごらんになっていて、営巣木の存在する場所の構造ですとか立体的な構造など樹林環境と言うことでの判断はいかがでしょうか、この辺。 [REDACTED]</p> <p>・率直に言って、自分が見ているところは教科書どおりの営巣環境というところが結構多かったものですから、この何点かを見たとき、これでやっているのかと率直には思ったんです。なぜこういう中でと考えたときに、先ほどちょっと申し上げたけれども、巣高が非常に高いということで低灌木のところを押し上げているのかなと思ったりしたということで、印象がそのように強く思ったことで違和感があったということがありました。</p> <p>ただ、私はこの林内空間の被度の問題とか何とかまでは余り考えないでおりましたので、この中で頑張れるということは必ずしも安定的な環境じゃないんだろうなと。絶えずそのために中断したり、放棄したり、移動していったりということを生んでしまうのかなというようなとらえ方をしました。 [REDACTED]</p>

項目	主な意見と回答
調査地Lの保全対策	<p>・ [] はたくさん巣をごらんになっているので御判断は非常に重いのですが、私も、足元に及びませんが、若干見ている、このぐらいの樹林規模で、このぐらいの質の営巣林は幾つか見えています。</p> <p>それで、恐らく周辺の食べ物条件がしっかりしているところであるかな、そんなことも思いまして、できるだけこの中でよさそうな場所であればここかなということで選んでみたのですが、 [] は何かございますか。 []</p> <p>・ 現地を見なきゃ何とも言えないな。これは [] にお任せするしかないかなと。 []</p> <p>・ それでは、どうなるかはわかりませんが、とりあえずこの3カ所をつけてみると、で、推移を見ながら微調整をしていくということで御了解いただいたということにいたします。 []</p> <p>・ あと1つ、人工的な巣をつけてもいいと言ってくれる地主の方でしたら、周辺の竹を少し切らせていただくようなことも一緒にお願いしたら、林としてはとても風通しのいい場所になると思いますから。 []</p> <p>・ そうですね。 [] はいかがでしょうか。 []</p> <p>・ 剪定すればというようなことがちょっと書いてあったところがありますよね。 []</p> <p>・ はい。 []</p> <p>・ ああいったのは余り影響しないんでしょうかね。 []</p> <p>・ 私がかかわっているところで、隣接している枝が込み過ぎるとか上が込んでいるところで、抜いたところはちゃんと使ってくれていますね。 []</p>

項目	主な意見と回答
調査地Lの保全対策	<p>・剪定した？ [REDACTED]</p> <p>・ええ。逆にそういうところがどうも邪魔になっていて、その場を放棄したという可能性もあるんですね。 [REDACTED]</p> <p>・なるほどね。 [REDACTED]</p> <p>・ですから、具体的にいうと、巣に入る横の空間というのはいいていたほうがいいわけですね。そういうところを邪魔な枝が茂り過ぎると。 [REDACTED]</p> <p>・私が申し上げたかったのは、あいているのは非常にいいんだけど、人為的に剪定したことで、オオタカがそれに気づいてかえって近寄らないという心配は要りませんかと。 [REDACTED]</p> <p>・それは全くないと思います。 [REDACTED]</p> <p>・ないですか。 [REDACTED]</p> <p>・はい。 [REDACTED]</p> <p>・わかりました。 [REDACTED]</p> <p>・変な言い方ですけども、安全ということを前提に配慮して人が何かをしたということに対して許容量はあると思います。 [REDACTED]</p> <p>・そうですか。 [REDACTED]</p> <p>・はい。</p> <p>あとは、17ページのところに代替巣の台座の形が幾つかありますけれども、そんな事例があります。2つある一番下の右側は、 [REDACTED] [REDACTED] 周辺で今2カ所営巣しているんですけども、それで使っているものですね。これは驚くべきことに支える枝はないんです、全く。落ちてしまったので、そこにもとあった巣からちょっと</p>

項目	主な意見と回答
調査地Lの保全対策	<p>下のところの幹にどんと固定しまして乗っけて、そうしたらすぐ使いましたね。そういう状況のものが2カ所今現在進行中です。そんなところですよ。</p> <p>それでは、人工代替巢に関しては以上といたしまして、18ページ以降の工事を進める際の判断とか工事の内容との関係、この辺で、順番ではないですけども、御意見のあるところからお話を。 XXXXXXXXXX</p> <p>・よろしいでしょうか。XXXXXXXXXX</p> <p>・どうぞ。XXXXXXXXXX</p> <p>・2点あります。1点は、4.4ですから23ページ、完全遮断すればいいというのはだれでもわかることなのですけども、予算の関係とかを考えれば上のでもしようがないかなということなんですけれども、遮断施設が5mではなくて8mぐらいにならないかということを経済局にこの間お話をしてきましたので、そのあたりが安全施工の関係とか何かで問題があるかどうかだけちょっと確認をしたいということが1点です。</p> <p>それから、もう1点は26ページですけども、26ページの3月期の工事の実施の考え方の①ですね、調査Fにおける顕著な繁殖が確認された場合の一番下なんですけれども、最終的にもう一度4月に繁殖が確認された場合に工事を実施するという形になっていきますけれども、ほかの2、3からいっても、ここはやはり工事を一たん中断して検討するというにしないとほかとつじつまが合わないのではないかというふうに思います。ですから、この場合にはL地において繁殖兆候が確認されたわけですから、4月以降改めて、こういう形で実施するのではなくて、工事を継続するかどうかをきちんと検討するというにしないといけないのではないかと。私は2点です。XXXXXXXXXX</p> <p>・そうしましたら、8mというのは、できるだけ覆うという方向でのお考えかと思えますけれども、何か根拠はございますか、8mの。 XXXXXXXXXX</p>

項目	主な意見と回答
調査地Lの保全対策	<p>・やっぱりできるだけ遮へいしたほうが良いということですが、影響を受けないために。</p> <p>ただ、さっき言ったように完全遮断というのは一番いいけれども、予算とかそういうことがあると思うので、5mよりもできるだけ高くできないですかということです。 [REDACTED]</p> <p>・その点についてはいかがですか。 [REDACTED]</p> <p>・まず、遮へいの高さについてなのですが、高さとそれによる効果みたいな話とあると思うんですけど、事務局のほうでまず5mを提案させていただいたのは、5mによるまず音、音が5mあれば営業地の静かな環境の音のレベルにまずなるとということと、あと当然遮へいだからどれだけ見えるかという部分で [REDACTED] とかはなるべく高くということで8mというお話になったんですけど、例えばクレーンも18m以下には規制しているのですが、例えば5mの高さの遮へいですと通常の重機、人等の出入りはほとんど見えなくなります。8mにしたときと5mでどこが違うかということ、高いクレーンを使ったときに下のほうの見え方が若干変わると思うのですが、遮へいの効果としては5mで十分だと思って今回出させていただきました。</p> <p>ちなみに、8mにした場合にかなり風の荷重というか、風の影響をすごく受けまして、さすがに8mとなるとかなり大規模な基礎とかをつくらなくちゃいけなくなりますので、できれば5mでお願いしたいというのが事務局の意見です。(事務局 早野)</p> <p>・この辺について [REDACTED] はいかがでしょうか。上げることに関して、経費の問題もありますが。 [REDACTED]</p> <p>・経費のことはありますが、重機の中で5mのフェンスだとクレーン以外は大体見えなくなると思います。人はもちろん抑えられますし、大きなトラックも大きな荷物をあれして、ダンプが後ろを立てて土砂をすりおろしても、5mで真横からなら見えないようになっていると思いますからいいのかなと思っています。 [REDACTED]</p>

項目	主な意見と回答
調査地Lの保全対策	<p>・私は、22ページのTRD機というのも使い分けるんですね、並行して工事をやる時に。それはかなりクレーンより高い機械もありますので、そういう点で、できるだけ遮へいも含めて高いほうがいいかなということだったんだけど、皆さんは5mでいいということならば、それはそんなにこだわらないです。 [REDACTED]</p> <p>・工事が大規模になるのもマイナスかもしれないですね。8mだと、今おっしゃられたような基礎の部分の工事が [REDACTED]</p> <p>・遮へいにかかなり大規模な工事をしなくちゃいけなくなったりします。 (事務局 早野)</p> <p>・ [REDACTED]、いかがですか。 [REDACTED]</p> <p>・これはよくわかんないですけど、真横から見ればきれいに隠れても、鳥は飛ぶものですから上から見たときはどうなるんだって懸念も当然出てくるので、一つの理解の仕方、5mで大丈夫だということになれば対策の一つかなと考えざるを得ないと思いますけれども、いささかわかりませんね。 [REDACTED]</p> <p>・この遮へいは工事が終わった後もずっと残していただけるんですか。工事が終わるととっちゃうんですか。 [REDACTED]</p> <p>・工事中はまず5mにします。工事後の遮へいというのを対策の中に入れていますが、それは一応4、5mととりあえずさせていただいていますけど、その4、5mが4なのか5なのかというのはちょっとあれですけど、一応遮へいはします。 (事務局 早野)</p> <p>・するんですよ。 [REDACTED]</p> <p>・しますね。 (事務局 早野)</p> <p>・しないと、後、帰ってきにくいよね。そのままもちろんそこにいてくれればいいわけだから。 [REDACTED]</p>

項目	主な意見と回答
調査地Lの保全対策	<p>・あと、工事中は防音ですね。特に音を吸収するために上のほうに防音パネルみたいなのをつける予定なんですけど、それでなるべく音が低減できるようにというところがありますが、将来できる遮へいはそういったところは逆になくて、壁として5mなりの壁になると。(事務局 早野)</p> <p>・工事が終わった後の遮へいというのは、機能は何が目的ですか。 [REDACTED]</p> <p>・見えるほうの遮へいですね。(事務局 早野)</p> <p>・本線のところにつきましては、音対策ということで遮音壁的なものになると思います。(事務局 森澤)</p> <p>・道路側のほうについては防音も兼ねた遮へいという格好になると思います。(事務局 早野)</p> <p>・ということになるわけですが、いかがでしょうか。 [REDACTED]</p> <p>・そうすると、この辺でいいのかなという感じもするな。もちろん高けりゃ高いほどいいんですけどね、それは。 [REDACTED]</p> <p>・そういうことです。一応危惧を言っただけですので、結構です。 [REDACTED]</p> <p>・それでは、こういう言い方はまずいのかもしれないですけど、我々も科学的にきちっと根拠があって言っているわけではありませんが、この委員会としては5mでやっていただくということを了承します。</p> <p>それと、26ページに段取りとといいますか、繁殖した、しないでというふうに進めていくかの点で、左側の最後のところ、繁殖があるということに関して、今までの物の考え方もありますが、 [REDACTED] からこの場を開いて検討すべきではないか、そういう手順を組み込んだほうがいいのかという御提案ですが、これに関しては。 [REDACTED]</p>

項目	主な意見と回答
調査地Lの保全対策	<p>・これはそうでしょうね。 [REDACTED]</p> <p>・そうじゃないと全部が認められないですよ。だって、ほかのが整合性がなくなっちゃいますからね。 [REDACTED]</p> <p>・ [REDACTED] はいかがですか。 [REDACTED]</p> <p>・私は、2月中に確たる証拠が出るかな、その心配のほうをしています。この中の兆候としては雄、雌の鳴きかわしななんていうのがありますから、その辺が見えたり、聞こえたりすることは2月中に当然起きると思いますからあれですが、それと抱卵というようなものとは……、そこまでいけばあれですけど、2月中に抱卵はあり得ないと思いますので、 [REDACTED] のオオタカで。だから、とっても難しいんじゃないかと思って、調べる人たちがさぞ大変だろうなと思っています。 [REDACTED]</p> <p>・思いつき提案ですけれども、判断するとき、会を開くまでもないですが、回り持ちじゃないですけれども、意見を聞くという仕組みを入れておいたらいかがでしょうかね、自動的に決めちゃうというよりも。 [REDACTED]</p> <p>・今回のこの26ページの表につきましては、2月期判断、3月期判断というところについてはそれぞれ会議に諮るつもりで、2月期のものは2月末までの状況を踏まえて3月の初めに、3月期のものは、この黄色い部分になりますが、ここの部分の判断を3月末になるかどうかはあれですけど、3月末か4月上旬ぐらいに会議で判断を仰ぐという形で考えておりますので、逆に、その時点で兆候を見ながらまた判断をいただければいいかなというふうには考えているんですけど、基本方針として今回の資料にこういった記述がしてあることが正しいかどうかというのを [REDACTED] はおっしゃっていると思うので、その辺はいかがなのかなと思うのです。(事務局 早野)</p> <p>・わかりました。両委員からの御意見のように、4月の判断というのはこの会議に諮って最終的に決定する、そういう形を組み込んで</p>

項目	主な意見と回答
調査地Lの保全対策	<p>いただくと、明確にですね。 [REDACTED]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それを明確に記述するということですね。(事務局 早野) ・そうですね。 それと、この全体の流れといいますか、こういう手順を踏んで確認をしていくということに関して何か問題点があるとかそういうことがございましたら御意見を言っていただきたいと思います。私が最初に案を見たときに、理解力がなくて一体どういうふうの流れでいくのかがわからなかったのですけれども、お電話で細かく聞いて納得できまして、今、 [REDACTED] が御指摘になったあたり以外は、私個人としてはこういう流れかなと思いましたが。 [REDACTED] ・わかりましたというか、事務局としましては、一番左側の流れにつきまして、この3月期判断のLにも兆候がある場合については委員の判断を仰ぐというのをこの中に判断項目として入れ込みます。 (事務局 早野) ・監視モニタリングはカメラでしたよね。 [REDACTED] ・カメラと、後で調査項目も出てきますが、かなり頻度で調査をする予定ですので、それも含めてここで議論していただいてもいいかもしれないと思います。(事務局 早野) ・よろしいですか。 [REDACTED] ・はい。 [REDACTED] ・ [REDACTED] はいかがですか。よろしいですか。 [REDACTED] ・はい。 [REDACTED] ・それでは、先ほどのを加えていただいてこういう流れということでよろしくをお願いします。 [REDACTED]

第12回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

項目	主な意見と回答
平成25年繁殖期初期の調査計画（案）	<p>・そうしましたら、次の議題に進みます。25年繁殖期初期の調査計画案の御説明をよろしくお願いします。 [REDACTED]</p> <p>・「平成25年繁殖期初期の調査計画（案）」の説明（事務局 森澤）</p> <p>・ありがとうございます。</p> <p>先ほど議論した工事開始に関する手順に対応してこのような形で調査を実施して、その結果を反映していくということですが、何か抜け落ち等がございますか。赤字で書かれている追加の調査の1点で実施される場所は、具体的にはどこになりますかね、実施する場所はどこが一番いいのでしょうか。 [REDACTED]</p> <p>・これは調査地Fの営巣林を観察する地点として考えています。（株）建設技術研究所 川崎</p> <p>・表1のところ、CCDカメラのモニタリングというのは、FもLも設置してやるわけですか。それ以外に人を配して見るということになりますね。 [REDACTED]</p> <p>・そうですね。（事務局 早野）</p> <p>・この辺は、 [REDACTED]、いかがですか。営巣林というお話ですが。 [REDACTED]</p> <p>・1月なんかは、雌が巣へ出入りするかどうかを見ていることで読めるのではないかなと思うことはあります。ですから、定点調査をやっても、巣へ入ってくるのだったら、それはカメラで見えるわけで、周りのどこを飛び回っているかというのはどのぐらい重要な情報なのかということにあれば、そうすると1月の調査は、例えば予算ができていらっしゃるなら2月の後ろのほうに集中して回していただいたほうが繁殖に続く行動を知るのにはいいのかなと思ったりもします。 [REDACTED]</p> <p>・モニタリング調査が [REDACTED]</p>

項目	主な意見と回答
平成25年繁殖期初期の調査計画(案)	<p>・産卵をする日なんていうのは二、三日のうちに特定できるわけですよ、カメラがついていれば。 [REDACTED]</p> <p>・そうですね。ただ、1月の下旬からモニタリングカメラが作動するということですね。だから、1月の上中旬は巣を見ていないということですね。 [REDACTED]</p> <p>・でも、雌が巣に来る可能性は1月の20日は過ぎると思いますから、その辺でわかるのかなと思います。雄はせつせと来ても、雌が来てくれないと最終決定にならない可能性がありますから。 [REDACTED]</p> <p>・実際に調査を担当されている方はどうですか、その辺の感触は。 [REDACTED]</p> <p>・CCDカメラ自体は、表1はことしの調査内容ですので、平成25年は表2で示しているとおおり1月上旬からCCDカメラは運用します。(株)建設技術研究所 川崎)</p> <p>・わかりました。 今までのCCDカメラを設置しての調査での動きというのはいかがでした、その辺の1月、2月あたりの出入り構造は。 [REDACTED]</p> <p>・平成24年の繁殖期は、CCDカメラによって調査地Fの巣F3において雌の出入りが2月の中旬に多く確認されています。(株)建設技術研究所 川崎)</p> <p>・2月の中旬に? [REDACTED]</p> <p>・はい。(株)建設技術研究所 川崎)</p> <p>・1月はほとんどなかった [REDACTED]</p>

第12回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

項目	主な意見と回答
平成25年繁殖期初期の調査計画（案）	<p>・ 出入り自体は運用開始後1月29日から。運用開始時点が1月28日から開始していますので、28日に開始して、29日に成鳥の出入りを巣F3……（株）建設技術研究所 川崎）</p> <p>・ それは雌 [REDACTED]</p> <p>・ こちらは、性別は不明と判断されています。これは、巣に来たというよりは、巣の直下の枝にとまったようだというような状況でございました。巣に来巣したのは2月19日か20日ごろです。（株）建設技術研究所 川崎）</p> <p>・ その辺で、巣の外側の営巣林全体の動きの確認というのは、判断をする上では余り重要ではないですね。 [REDACTED]</p> <p>・ そうですね。 [REDACTED]</p> <p>・ こういう意見です。 [REDACTED]</p> <p>・ それなので、1月中の費用は後ろへ回したほうが。 [REDACTED]</p> <p>・ 逆に1月を薄く、2月を厚くみたいな形のほうがいいんですか、同じ費用をかけるならば。（事務局 早野）</p> <p>・ 2月を厚くしたほうがよさそうな気がします。 [REDACTED]</p> <p>・ ただ、3月の10日ぐらいから集中して巣材を運ぶようになると思うので、それが1日に何十回か集めてくるようならもうそこというふうになると思うのですが、 [REDACTED] の例で、おとしの営巣地と去年の営巣地とあって、3月の中旬ぐらいまで両方に巣材を運んでいた例がありますので、どちらへ決めるかは本当のところ3月の末に決まるということがあると思います。 [REDACTED]</p> <p>・ 工程の中で2月いっぱい1回皆さんにお諮りしてということの段階があるのですけれども、それとの兼ね合いとしては1月からある程度やっておいたほうがいいかなという判断が1つあると思</p>

第12回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

項目	主な意見と回答
平成25年繁殖期初期の調査計画（案）	<p>ます。</p> <p>あともう一つが、今1ページの右側のところに繁殖期初期に確認される繁殖兆候の具体的な行動を示された表がありますけれども、これを見ていただくとわかるように、先ほど■■■■から御指摘があったように、行動も1月より2月、3月と高まっていくというふうなことから考えると、やはり1月に機械的にやるよりも2月に重点的に厚みを持って調査したほうが、より判断できる材料が集まるだろうということがありまして、ですからその辺で1月からある程度均等にやって情報を皆さんに出ささせていただいたほうがいいのか、それとも2月で直近になってから厚くして、データは少なくなると思うんですけれども、御判断いただいたほうがいいのか、その辺でお考えいただければいいのかなというふうに思います。（(財)埼玉県生態系保護協会 須永）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1月中旬は4回ですか、追加。■■■■ ・ 黒で書いてある分についてはそのままさせていただいて、追加の部分は2月に動かすことでいかがでしょうか。■■■■ ・ 調査頻度が追加を加えると高くなるわけですね。■■■■ ・ 調査の厚みをどの程度とれるか、ちょっと悩んだ分があるんですけど、今のところL地は工事監視で毎日やっています。で、Fのほうをどうとらえるかというときに、今2日に一回という頻度に行っているのです。それが多いか少ないかというところもちょっとわからないんですけど、2月、3月の一番重点的に見なくちゃいけない部分も2日に一回で足りているのか足りていないかというところが逆に1月を持ってくる判断につながるのかなと思ったんですけど、もし2日に一回でよろしいのであれば、1月から延べ単でやる形がよろしいのか、1月の赤の4足す1の5回分を2月、3月へ少しでもまぶして、そっちをより厚くしたほうがよろしいのかということで、■■■■はそっちがよろしいというお話だったと思うのです。（事務局 早野）

項目	主な意見と回答
<p>調査地G（上尾道路 ）の道路 整備によるオオタカ への影響及び保護対 策</p>	<p>・ありがとうございます。</p> <p>既に提言したものが先ほどの御説明の次に添付されていますけれども、前回議論した内容ですね、ちょっと話に混乱があったようですが、それを修正する形できょうの内容を取りまとめていただきました。いかがでしょうか。 </p> <p>・基本的には問題ないというふうに思います。</p> <p>ただ、 のほうで保護運動をやっている方は、 整備イメージとありますね、 の右側、この部分が盛り土になっているんですね。ここの部分のけた下が2 mぐらいなので、オオタカの飛翔に混乱したり何かするのではないかということで、できればここに低木でけた下のところを埋めるような形にしてもらったほうがいいのではないかという意見が出ていましたので、私も、そういう意見をここに加えてもらえないかという意見は出しておきました。 </p> <p>・今のような経緯ですが、 、オオタカの行動能力等を考えるといかがでしょうか。 </p> <p>・その点から言えば全く心配のないことだと思います。そんなところへぶつかるようなのは早く淘汰されたほうがいいのではないかという感じですが、そこへ入りにくいように何かされるというのはいいのかもしれませんが、人が遊びに入るようなことはないでしょうね。 </p> <p>・あと、道路管理上の問題が発生する可能性がありますよね。 </p> <p>・道路管理上、よく浮浪者みたいな方がこういうところに入り込んだり、あと子供の入り込みとかもあるので、できれば閉めるというか、入り込まないような措置をしたほうが管理上もいいと思いますので、それを兼ねてオオタカ対策とあわせてするという方向でよろしければ検討させていただきます。（事務局 早野）</p>

項目	主な意見と回答
<p>調査地G（上尾道路 ）の道路 整備によるオオタカ への影響及び保護対 策</p>	<p>・これはふさげますよね、ネットのフェンスみたいなものでね。 </p> <p>・植栽すると、こういうのはなかなかないと思うのですが、オオタカがハンティングして小鳥を追いかけていったときに、そこに隠れる可能性があって、逆にオオタカが入り込むことも考えられるので、フェンス構造みたいな処置をしていただいたほうがいいのかもかもしれません。</p> <p>ほかに、この点について御意見はいかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p>そうしましたら、今の意見を加えていただいてまとめていただくと。 </p> <p>・趣旨としては、5 m程度は問題ないけど、一部2 mがあるところについてはオオタカの入り込み等について配慮した検討が必要ということを書き込むような形で。（事務局 早野）</p> <p>・そうですね。 </p> <p>・それを書いたものを に確認していただく方向でよろしいですか。（事務局 早野）</p> <p>・結構です。 </p> <p>・わかりました。 </p> <p>・よろしくをお願いします。（事務局 早野）</p> <p>・ありがとうございました。</p> <p>それでは、一通り予定されていた議論は終わって、それぞれ認めていただきましたので、進行をお返しいたします。 </p> <p>・どうもありがとうございました。</p> <p>本日提案させていただきました、まず調査地Lにおける保全対策につきましては、ミティゲーションとしては、本日の御意見等を踏</p>

第12回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

項目	主な意見と回答
閉会	<p>まえて次回に向けて実施計画案を検討させていただきたいと思 います。それと、調査地Lの施工時の配慮につきましては、本日修正 等も踏まえた形で対応させていただきますので、まず調査地Fへの 誘導地対策につきましては御了解いただきましたので、まず12月 中旬までに実施させていただきたいと思 います。また、3月期以降 の工事実施につきましては本日御意見等をいただいたものを踏ま えて考え方を整理させていただきまして、次回会議で2月期までの 繁殖調査結果を報告させていただきたいということで御判断いた だきたいと思っております。</p> <p>また、ただいま確認いただきました ██████████ ██████ に対します回答につきましては、本日御確認いただきましたとこ ろの修正、追加等をさせていただきまして、最終的には ██████████ に 御確認いただきまして検討会議に回答させていただけたらという ことで考えております。</p> <p>次回会議につきましては、会議途中でも御説明させていただきま したとおり3月上旬を予定させていただいております。具体的な時 期につきましてはまた追って調整させていただきますので、よろし くお願いしたいと思います。(事務局 森澤)</p> <p>・それでは、長時間にわたり御議論をいただきましてどうもありが とうございました。以上をもちまして第12回埼玉圏央道オオタカ 等保護対策会議を終了させていただきます。どうもありがとうございます でした。(事務局 森澤)</p>